

流域1万人だより 081～090

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

081. 西福童公民館(小郡市小郡校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.27)

082. 栄田公民館(大刀洗町本郷地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.28)

083. 五和振興センター(田田市五和地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.11.30)

084. 田主丸町役場(田主丸地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.03)

085. 大堰交流センター(田主丸町大堰地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.05)

086. 大石公民館(浮羽町大石地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.06)

087. 御幸公民館(浮羽町御幸地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.07)

088. 鳥栖公民館(鳥栖市鳥栖地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.10)

089. 基里公民館(鳥栖市基里地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.13)

090. そよ風ホール(田主丸町水分地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.12.14)

流域1万人だより VOL. 81

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成16年11月27日(土)に西福童公民館(小都市小郡校区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

18名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	小都市
-----	-----

1.	代表者懇談会
----	--------

②	住民懇談会
---	-------

出席者	
-----	--

国	6名
---	----

県	2名
---	----

市	5名
---	----

住民	18名
----	-----

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

☆私が小さいころは端間井堰のところで泳ぐことができた。水を綺麗にして、子どもたちが遊べるような整備をお願いしたい。

【昭和28年水害について】

☆昭和28年水害のときはモグラの穴から漏水して堤防が決壊した。

(過去にモグラの穴に石膏を入れて調査したところ1mほどの深さで、直接的な原因になったとは断言はできません。堤防決壊には溢水、漏水等のいくつかのパターンがあり、現在堤防の質的調査を行っています。)

【治水対策について】

☆この地区に住んでいて安全で安心な暮らしができるのか、また問題があるのか。

(昭和28年には2日間で513mmの降雨がありました。昭和28年水害時の水量を安全に流下させることを整備目標としていますが、まだ1/3程度しか整備されておらず、同程度の降雨があった場合、決して安全とは言えません。)

☆端間橋の上下流付近を整備してほしい。

【環境整備について】

☆宝満川も久留米付近と同じように堤防を芝生で整備してもらいたい。子供たちが水遊びできるように整備してもらいたい。

☆コンクリート護岸では魚が棲めないで、昔みたいに木杭とし、魚の棲みやすい環境を整備してほしい。

☆魚道だけでも整備をして貰えたら良いが、遠賀川でもサケが遡るように努力しているようだ。

☆矢部川は自然が多く残っている。宝満川についても矢部川をモデルにして整備することができないか。

【河川利用について】

☆宝満川だけでも堤防沿いに桜を植えて、桜並木に整備してほしい。

【河川管理について】

☆今朝丸付近の川の中の柳の木が橋にかかるくらい繁っているが、何とかして欲しい。

☆地域で管理するにしてもまずは手本となるものを国で整備してほしい。

☆草刈の時期が県と国で差があり、地元は迷惑している。行政の連携が不十分ではないか。

☆棚田に彼岸花が植えてあるが、これはモグラよけの意味もある。堤防に植えてみてはどうか。

☆宮の陣上流の水上バイクを規制する方法はないのか。環境破壊にもつながっている。

(バイク利用者、漁民、住民、警察等で協議会を立ち上げ、新しいルールづくりを行う予定です。)

住民懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 82

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 11 月 28 日(日)に栄田公民館(大刀洗町本郷地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
29名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	大刀洗町
-----	------

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者	
国	8 名
県	2 名
町	3 名
住民	29 名

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

☆昔は小石原川にたくさんのホタルがいた。また水量も多かった。水量が少なくなったことが水質悪化につながり、ホタルにも影響しているのではないかと。江川ダムができてからホタルがいなくなった。

【治水対策について】

☆ダムができてから、中州が多くなり、川幅も狭くなってしまった。
☆流水量が減ってしまったので、川底に砂がたまって洪水を引き起こす可能性もあるのではないかと。

【環境整備について】

☆30 年前と環境が一変している。治水だけの目的で整備しているので、環境的には良くない。昔のような綺麗な川にできない原因は、ダムの影響もあるのではないかと。
☆ビオトープの考え方や、どのような植物や川魚等の生物の育成を考えれば良いのかよく分からない。

【河川利用について】

☆筑後川本川は整備されているが、支川の整備は進んでいないのではないかと。また、子供たちは泳ぎたい気持ちはあるものの、今の川では泳げる場所がない。
☆水制工（栄田～本郷区間）ができた頃は、よく子供たちと遊んでいたが、現在では土砂が溜まってしまっている。また、周辺の除草も行ってもらいたい。
☆堤防道路は散歩するときに利用しているが、河川敷は草が生い茂り、川に近づけない。親水公園化を行うなどして整備してもらいたい。

【河川管理について】

☆10 年前ぐらいから、雑草が生えても整備がなされていない。地元に管理するように言われても簡単にできるものではない。
☆堤防道路は、交通量が多いにもかかわらず非常に幅員が狭い、堤防の道路整備をお願いしたい。
☆目北橋から栄田橋付近は、堤防の裏から水田部に水が湧き出ている。昔、堤防決壊した後、砂利層・砂層が残ったまま対策を施したことが原因だと思う。
☆河川敷に入れる場所が少ない。草刈の時以外はほとんど河川敷に入れない。当然、利用することも少ない。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 83

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 11 月 30 日(火)に五和振興センター(日田市五和地区)

にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

29名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	日田市
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	8 名
県	- 名
市	1 名
住民	29 名

主な意見

【昭和 28 年水害について】

☆昭和 28 災は、日田市の大部分が浸水する大きな被害をもたらした。ダムの調節だけで 28 災規模の水害を防ぐことができるのか。まずは、治水的に安全な町づくりを行ってほしい。

【治水対策について】

☆今年は、日本全国で想像を絶する災害が起きている。日田市でも起こりうる可能性があるのではないかと。☆分水路など中流域や下流域ばかり整備しても、水源（上流部）から整備していかなければ問題が解決しない。

【環境整備について】

☆植物は窒素とリンを吸収して川を浄化するので、ヨシも水質浄化の役割を担っていると思う。☆水郷日田というが、10 日間雨が降らないと川が臭くなってしまふ。生活廃水、工場排水規制がされていないためではないか。筑後川本川の整備はもちろん、水質の悪い支川にも目を向けて整備をしてほしい。☆夏と比べると冬の方が水は汚い。冬でも一定量の水を流せば、水質は良くなるのではないかと。

【河川利用について】

☆74k 付近の護願寺付近は、五和地区の人たちには親しみがある箇所だが、今は雑草だらけで近寄ることも出来ない。できれば親水公園として整備してほしい。☆昔は花火大会時に花火がよく見えていたが、樹木のせいで対岸から見えなくなり、川にも近づけなくなってしまった。昔の風景に戻すような整備をしてほしい。☆五和地区の 1 丁目から 3 丁目は、以前は川と親しめる状況にあったが、コンクリート護岸等により親しむ場所が無くなった。護願寺から下流は土地もあるので、高水敷を利用して散歩ができるようにしてほしい。☆親子連れで魚釣りをしている風景も見なくなった。川に親しめる施設、住民の憩いの場所が必要だと思う。☆三隈川（筑後川）は雑草や柳が生えて水量も少ない。大山ダムができればさらに水量が少なくなるのではないかと心配している。☆コンクリート護岸より石積みの方が強度もあり、魚も住めるので良いのではないかと。堤防はしっかりした材料で施工し、低水路は石垣で施工する二重構造にしたらどうか。これからは環境に対応して考えていくべき。

【河川管理について】

☆島内可動堰下流の河川敷が柳のジャングルとなっている。自然環境のために木は切るべきではないという意見もあるが、河川の基本は治水であり樹木は切るべきだ。☆環境を考えるならば、堤防の内側に樹木（桜）を植えられるか。特に TDK 付近は日田に入ってくる所なので植樹できないか。☆夜明ダムは撤去しても良いのではないかと。環境面、管理面、発電量の少なさを考慮すれば、撤去する道を考えるべき時期に来ていると思う。☆人が落水した時、川岸に捕まるところがないので危ない。階段護岸等がたくさんあればよい。

懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 84

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 12 月 3 日(金)に田主丸町役場(田主丸地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

20名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	田主丸町
-----	------

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者	
国	7 名
県	2 名
町	- 名
住民	20 名

主な意見

【昭和 28 年水害について】

☆昔は、行徳から両筑橋は 2 つ堤防があった。しかし、28 災の水害で堤防が切れて堤防が一つになった。
☆子供の頃、巨瀬川の事を『こせごかわ』と呼んでいた。漢字も『巨瀬』ではなく『巨勢』だった。『巨勢郷川』が地域にとっては正式名称だと思う。今はさらさら流れるから『瀬』になっているが、昔は勢いがあったから『勢』だった。

【治水対策について】

☆川崎橋の架替工事を早く終了させてほしい。
☆多自然型川づくりは、現在はどうのような状況になっているか。
☆筑後川と巨瀬川の合流点に水門を設置すれば、本川から巨瀬川への流れ込みを防げるのではないか。

【河川利用について】

☆久留米のゴルフ場の様な施設を、田主丸の両筑橋上流に整備してほしい。
☆遊べる施設（飛び石）や魚のつかみ取りができる場所を、子どもたちのためにも設置してほしい。
☆川の中に木（柳）を植えて木陰をつくったり、川の中に降りる階段と散策路（カラー舗装）を造ってほしい。
☆将来的に、筑後川・巨瀬川に“川の駅”を整備してもらいたい。

【河川管理について】

☆巨瀬川で消防の給水管が橋の上から届かない場所（県管理区間、役場の裏）があるので消防坂路を作してほしい。
☆両筑橋付近の樹木は、洪水時の障害になるのではないかと。樹木を伐採して河川公園を整備してはどうか。
☆草が伸びるとゴミが捨てられる。草刈の回数を増やして草が伸びない状況にすれば、環境的にも良くなる。
☆昔は牛馬の飼料として堤防の草を刈っていたが、現在では県・国が行っている。しかし、地域住民が立ち上がって草刈等の管理を行う時期ではないか。何か行いたいけれど、何を行っていいかわからない。
（草刈等を地元の方々にして頂くアダプトプログラムという制度があります。）

※アダプト制度…河川愛護、美化意識の高揚をはかるため、ボランティア活動に意欲ある団体等に「里親」となってもらい、河川等の公共区域の一部を「養子（アダプト）」にみたと、清掃美化活動をしてもらう制度。
☆両筑橋付近は不法投棄が多く、車も放置しているので対応をお願いしたい。
☆田主丸はアクセス道路がない。朝のラッシュ時には久留米市内に行くのに 2 時間もかかる。堤防をバイパス化して有効活用してはどうか。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 85

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 12 月 5 日(日)に大堰交流センター(大刀洗町大堰地区)
にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
46名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	大刀洗町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	6 名
県	2 名
町	1 名
住民	46 名

主な意見

【治水対策について】

☆大木橋～両筑橋区間において、堤防の補強がなされておらず整備が遅れている。堤防道路も完備されていない。
☆床島地区は昭和 28 年の大水害に遭い、堤防を嵩上げする計画があると聞いている。今もまだ昔のままなので不安だ。

【河川利用について】

☆流域内の水を直接利用できずに、筑後大堰からわざわざ水道企業団を通して水を利用するのはどういうことか。
水利権があるのであれば地域で水道企業団を運営させられないものか。福岡のための水なら環境やライフラインを整備するべきだ。
☆大堰神社周辺の桜堤公園の管理をお願いしたい。飛石の周りに草が生い茂ってしまいとても遊べる状況ではない。
☆子供たちとイカダなどで川下りができるようなイベントを行いたい。コンクリート等を一切使用せずに素掘りの親水公園をつくってほしい。

【環境整備について】

☆夏場は水が濁っているので水質の改善をしてほしい。
☆百間堰周辺の環境整備を行ってほしい。土砂等が堆積してしまっている。

【河川管理について】

☆小石原川の合流点付近のグラウンドで、休みの日に四駆が走り回っている。
☆床島地区の河川敷でラジコン飛行機を飛ばしている人達は、自転車道から車で進入しているようだ。施錠を行う等の対策を検討してはどうか。
☆夜明ダムの放流のサイレンが長くうるさい。夜 12 時過ぎたら音を下げしてほしい。サイレン回数も減らしてほしい。
(夜明ダム(発電ダム)は九州電力の管理です。他の地域でも同様の指摘があり、スピーカーの位置、向きの変更等を現在検討しています。)
☆小石原川の江戸橋から下流は、堤防を造る計画があるのか。また、この地区の宅地は地盤が高く浸水することは考えにくいですが、道路が冠水するために避難路がなくなるので、片ノ瀬橋に直接つながる道路を整備してほしい。
☆レジャーでの魚釣りでも遊漁料の支払いを求められる。漁協と緩和策について話してはどうか。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 86

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 12 月 6 日(月)に大石公民館(浮羽町大石地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

18名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	浮羽町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	9 名
県	2 名
町	1 名
住民	18 名

主な意見

【治水対策について】

☆古川地区は、昭和 28 災時に大きな被害を受けたので丈夫な堤防を造って欲しい。

☆昭和 28 年の次は昭和 57 年に大きな水害があったので、30 年毎に水害が起きている感じがする。次の災害に備えて立派な堤防にして欲しい。

【河川利用について】

☆大石堰付近は魚釣りが出来ない規定があるが、規定を撤廃して川で遊べるようにして欲しい。

☆河川敷は、散歩やゴルフの練習をする人がいるので、お互いが気持ちよく利用できるエリア分けをして欲しい。

☆流水プールなど、子どもたちが泳げるところを設けて欲しい。

☆筑後川で子供が遊べなくなった原因は、ダムができて川がよどんでしまったためではないか。川で遊べなくなったので、川とのふれあいが無くなった。

【環境整備について】

☆川の水質は良くなっているそうだが、川で遊べなければ親しみは起こらない。川で遊べるような整備が必要だ。

☆最近、鮎が少なくなり釣り人がいなくなった。昔は、解禁日にはたくさんの釣り人がいたものだ。今後の工事では、魚が自由に川を行き来できるように留意して欲しい。

【河川管理について】

☆昭和橋上流の堤防道路は幅員が非常に狭く、車が通る時、歩行者や自転車危険にさらされてしまう。車が離合できる程度の幅員を確保してほしい。

☆水辺公園の近くの二線堤天端が生活道路になっているが、昔の堤防なので狭く離合が出来ない。

☆川の近くまでは近づけるが、水辺にはヨシや樹木があり近づけない。流れてきたゴミも引っ掛かり、景観的にも良くない。

☆古川地区は、ゴミの不法投棄が多い。河川パトロールや看板を立ててもあまり効果がない。

☆水辺公園のカヌー乗り場、消防用坂路は、土砂等が堆積してしまい、現在使えない状況になっている。

☆大石堰は、小学校の学習でよく利用されるが、寿橋は大型バスではまがりにくい等、アクセスしづらい面がある。大型車を分水路に止めて、散策できるような整備をお願いしたい。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 87

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

12 月 7 日(火)に御幸公民館(浮羽町御幸地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
13名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	浮羽町
-----	-----

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者	
国	8 名
県	2 名
町	1 名
住 民	13 名

主な意見

【治水対策について】

☆隈上川は、過去 40 年の間に嵩上げ工事が 2 回あった。堤防を嵩上げすると家屋への取付け道路の整備が大変。

【河川利用について】

☆旧堤防と新堤防の間を公園化して欲しい。

☆隈上川は、石垣を使って堤防を整備してもらったので魚の棲みやすい環境になっている。昨年から魚や釣り人が増え喜んでいる。

☆どの川でも川に沿って道があるものだが、隈上川は上流まで道がない。将来、川沿いに桜を植えて自然歩道を造って欲しい。

☆子どもたちが近づける水辺を整備して、安全して泳げるプール等の施設を設ければ、学校も許可をするのではないかな。

☆河口から鶏鳴橋（3km 隈上川）は子供たちが遊ぶには良い立地条件である。階段式の護岸、散歩道、危険な個所を減らす等行うことで全体的に公園化できるのではないかな。

☆上御所から下御所まで 2 箇所のでけを撤去し石畳を設置したが、現在石畳は流出してしまっている。今後は川底部分をしっかりと固めて施工して欲しい。

【環境整備について】

☆川を見ていると子供たちが遊ぶには、魚、カニ、エビが昔に比べあまりにも少ない。今後は生物にやさしい河川工事ができないものか。

☆昔、柳野橋付近では蜚の会が行われていた。今後整備する際には、子どもの遊び場のある生物豊かな川にして欲しい。

【河川管理について】

☆増水時、旧堤防付近にペットボトル・材木などが流れてくる。ボランティアで片付けているが回収しきれない、なんとかならないものか。

☆下御所橋は軽トラックが離合するのも大変なので、歩道をつけて欲しい。

☆除草については、地元でもやりたいという気持ちを持っている。

【その他】

☆行政側が住民の意見を聞くのは初めてだ。今までは誰に要望していいのかわからなかった。今後は、話し合う場を頻繁に持つようにして欲しい。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 88

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 12 月 10 日(金)に鳥栖公民館(鳥栖市鳥栖地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、

住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	鳥栖市
-----	-----

1.	代表者懇談会
----	--------

②	住民懇談会
---	-------

出席者	
-----	--

国	7 名
---	-----

県	2 名
---	-----

市	3 名
---	-----

住民	5 名
----	-----

『今日の一言』

河川整備計画は次世代の子どもたちに考えてもらうべきだ！！

主な意見

【治水対策について】

☆安良川の合流点付近に土砂が堆積している。5～10年に一回は除去してほしい。

☆今の河川は、両岸がコンクリート護岸になっているから、余計に大きな災害が発生しているのではないかな。人口的な工事・整備をするから災害が発生するのではないかな。

【河川利用について】

☆大淀川は、河川敷の中に芝生が張っており、散歩コース、トイレも整備してある。筑後川も、このような観光面の整備を充実させるべきではないかな。

☆レクリエーションのできる広場、自転車ロードを河川敷に整備し、地域の特産物を販売する場を設けたりできれば、筑後川流域の活性化につながるのではないかな。

☆昔は固定堰だったので一気に水は来なかったが、今は転倒堰なのでいきなり水が来る。

【環境整備について】

☆50年前、千歳橋下でよく泳ぎ、貝を捕って遊んでいた。今では、川砂も汚くなってしまった。護岸整備は自然との兼ね合いを考えて行ってほしい。

☆環境を考えるなら、石等を自然の素材を使った堰にするなど、検討してみてもどうか。

☆下水道の整備が進んだせいか、ここ1、2年水質が良くなり、メダカが少しずつ増えてきた。

☆川への要望の第一は、とにかく水を綺麗にしてほしい。筑後川より宝満川のほうが汚い。茶色の水だ。

【河川管理について】

☆安良川旭地区の堤防道路を、そのまま新幹線の橋脚の下を通して久留米駅方面に抜けられるようにしてほしい。

☆宝満川の下野堰上の井堰を非灌漑期でも下げなくなった。そのためヘドロが堆積して汚い。

☆久留米市側よりも佐賀県側にゴミが多い。条例の制定や対策を行い指導しては。

☆堤防の除草をもう少し早くできないかな。草が延びてからしか刈られないから、取水口まで下りられない。

【その他】

☆こういう事は大人に考えてもらうのではなく、次の世代を担う子どもたちに考えてもらうべきである。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 89

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 12 月 13 日(月)に基里公民館(鳥栖市基里地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
17名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	鳥栖市
-----	-----

1. 代表者懇談会
- ② 住民懇談会

出席者	
国	7 名
県	2 名
市	3 名
住民	17 名

主な意見

【昭和28年水害について】

☆昭和28年水害では堤防が氾んしてしまった。水から逃げるために、牛馬は床の間に上げていた。鶏は屋根の上にあげていた。
☆地球温暖化のせいや、台風がいくつも上陸するような異常気象だ。昭和28年の雨量に対してどれくらい耐えられるような整備が進んでいるのか。
☆昭和28年は、最初で端間付近で堤防が切れて、旭駅、大木川の双方の堤防、それから千葉の堤防が決壊した。今後、700mm以上の降雨があった場合、複数箇所での堤防決壊は考えられるのか。

【治水対策について】

☆最近では、過去何十年ぶりとかの災害があるので、弱いところはこの場所だということは必要だと思う。そのかわり、堤防が切れた場合にどういう対処をするかという事をしっかりとってもらえば良い。
☆危険水位に達した場合、他の行政機関と情報伝達を行うのだろうか、そのスピードを速めてもらう必要がある。あそこ行って、ここ行ってとなったら堤防はもう決壊しているかも知れない。
☆大木川(県管理)の堤防では、剥がれそうな石垣が数多くあって危険だ。筑後川は相当整備されているが、大木川は大雨が降ったら決壊するような堤防なので非常に心配だ。
☆筑後川の未来図を描くには、支流も大切ではないか。昔は大木川周辺もよく浸かっていた。国、県、市で、大木川をどうすべきかについて、きちんと議論して欲しい。

【河川利用について】

☆川の中に砂山とか遊ぶ場所がない。そのために子供たちは川では遊ばない。子どもたちを川に近づける整備が必要だ。
☆護岸工事が進み、河川敷が整備されて良くなっているが、護岸のコンクリートが滑って危ない。また、魚の種類、量は減っているし、釣り場も少なくなった。
☆ダムは洪水調節に役立っているが、下流の水量が減ったのではないか。ある程度の水量は確保しなければならない。また、水道水として使いすぎているという問題もあるだろう。

【環境整備について】

☆小さいころは宝満川でエビやカニを捕ったりしていた。しかし、今は砂浜なんか見えない。どこにいても水が深いので、子供たちが遊ぶような場所ではないと思う。
☆天建寺より下流では、カニがなくなった。水質悪化が原因ではないか。自然を守る方向で、河川の事は考えて行くべきだ。

【河川管理について】

☆宝満川では、大きな柳の木が多い。鳥が飛んでくるなど環境は良いかも知れないが、治水面を考慮すれば切ったほうが良いと思う。
☆大木川で不法投棄が多いのは、川中にヨシが茂り、川底が見えなかったりという状況に起因するものだ。筑後川本川だけではなく、支川の整備も連携をとって行っていきたい。

流域 1 万人だより VOL. 90

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成 16 年 12 月 14 日(火)にそよ風ホール(田主丸町水分地区)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、
20名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	田主丸町
1.	代表者懇談会
②	住民懇談会
出席者	
国	6 名
県	2 名
町	3 名
住民	20 名

主な意見

【治水対策について】

☆昔は遊水池（水田）がたくさんあった。都市化が進み、水田がなくなってしまったのも水害の起こる原因になっているのではないかな。

【河川利用について】

☆排水樋門の上流(300m)に昔の堤防があるが、堤防を崩してサイクリングロードを造りたい。
☆学校で川は危険だと注意していると聞くが、川と親しみ、自然とふれあうことも非常に大切だ。
☆コンクリートの護岸ではなく、川に近づくための階段、川に親しめる場所を整備してほしい。美津留川と古川の合流点に水鳥が休める場所を作れば、みんなが川に親しむようになる。

【環境整備について】

☆小学生の頃から船に乗って魚を捕っていた。魚がたくさんいる川に戻して欲しい。
☆美津留川から筑後川にかけて、油などが流れてくることもある。排水の悪化の影響により最近ではシジミがいなくなった。
☆昔に比べて水質が悪くなったせいか、水生植物も昔とは変わってきている。

【河川環境について】

☆両筑橋の下竹やぶには、ゴミ等が投棄されていて景観的にも良くない。子供たちが近づけるような整備を願いたい。
☆大石堰では 6 月～10 月まで藻やゴミを上げている。川にゴミを流さないように地域で心がける必要がある。
☆地域環境をよくするには、ある程度地域で行っていかねばいけない。県や国ばかりに任せず、地域の人も河川環境のために働くべきだ。
☆竹やぶにマムシがいて、出水時にゴミといっしょにマムシが流されてくるので昔からゴミを直接さわっていたりすることはなかった。
☆堤防の草刈は、管理者によって時期、範囲が異なるとのことだが、一緒に草刈を行ったほうが効率的ではないか。
☆昔は、草は牛の飼料となっていたため、部落単位で管理していた。今となっては草は邪魔になるばかりだ。
☆筑後川流域の情報を市町村に流し、いち早く情報伝達が行われ、地域住民が安心して住めるようにして欲しい。

住民懇談会の様子

